

Panasonic

インテグレートッド
CD・MD・DSP レシーバー

インテグレートッド
CD・カセット・DSP レシーバー

取扱説明書

品番

CQ-VX3000D
CQ-VX2000D

CQ-VX3000D



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	4
付属品の確認	7
リモコン(別売 CA-RC55D)の 電池の入れかた	7
各部のなまえ	8

使いかた

共通の操作

電源を入れる	10
電源を切る	10
音量を調整する	10
音源(ソース)を選ぶ	11
時計を調整する	12
文字の表示を切り替える	13

ラジオを聴く

CDを聴く

MDを聴く VX3000Dのみ

カセットテープを

聴く VX2000Dのみ

チェンジャー(別売)で

CD/MDを聴く

この取扱説明書は、CQ-VX3000DおよびCQ-VX2000Dの取り扱いについて説明しています。機能は下記のような相違がありますので、お買い上げの機種をよくお確かめください。

機種 \ 機能	MD	カセット
CQ-VX3000D		×
CQ-VX2000D	×	

：機能有り ×：機能無し
配線のしかたは、同じです。

- 製品のイラストは、特にことわりのない限りCQ-VX3000Dを記載しています。
- 操作の際は、本体ボタンまたは別売のリモコン(CA-RC55D)をお使いください。本書では本体ボタンによる操作方法を説明していません。本体とリモコンには相違がありますが、特にことわりのない限り、同様に操作してください。

必要なときに

サウンド・音場を設定する

サウンド設定の項目を選ぶ	27
音楽や気分にあった音質を選ぶ (ヒューマンイコライザー)	28
周波数ごとのレベル調整で音質を設定する (グラフィックイコライザー)	29
前後左右の音量バランスを調整する	29
乗車位置に合わせた音像にする	30
低音の厚みを調整し、リヤースピーカーを サブウーファーとして活用する	30
低音域を増強する	31
音場を再現する	31

その他の機能を設定する

設定する機能を選ぶ	32
ボタン操作音の有無を選ぶ	33
MDタイトル表示を スクロールする/しないを選ぶ	33
スペアナ表示の動きの速さを選ぶ	33
ディスプレイの明るさを選ぶ	34
外部入力 (AUX IN) に 切り替わる/替わらないを選ぶ	34
MUTE (ATT) ボタンの機能を選ぶ	35

便利な機能

スペアナ表示を切り替える	36
スペアナ表示をアレンジする	37
交通情報を受信する	38
一時的に音量を下げる	39
外部機器の音声を聴く	39
ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ	39

ディスクの取り扱いについて	40
ディスクの保管について	41
カセットテープの 取り扱いについて	42
カセットテープの保管について	42
お手入れのしかた	42
故障かな!?	43
配線のしかた	48
取り付けのしかた	50
仕様	52
アフターサービスについて	54

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を，次の表示で区分し，説明しています。



警告

この表示の欄は，「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は，「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を，次の絵表示で区分し，説明しています。
(下記は，絵表示の一例です。)



このような絵表示は，してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は，必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中の操作は，前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し，操作してください。

取り付け・アース配線等に，保安部品を使わない



禁止

ステアリング・ブレーキ系統・タンク等の保安部品のボルト・ナット・ビスを使用すると，事故の原因になります。
説明に従い，付属品をご使用ください。

⚠ 注意

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造，コードの被覆を切つて，他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火，感電，故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない，煙が出る，変なにおいが出る等の異常な状態で使用すると，発火・感電の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいもの等の異物が入ると，ショートや絶縁不良で発熱し，発火・感電・故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

水をかけたり，ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入るとショートや絶縁不良で発熱し，発火・感電・故障の原因になります。洗車や雨のときに水がかからないようご注意ください。

ヒューズの交換は専門技術者に依頼する



規定以外のヒューズを使用すると，発煙・発火，故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は，お買い上げの販売店にご依頼ください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など（DC24V車）には使用できません。ショートして発火や故障の原因になります。

可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れない



禁止

可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れると，けがや故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のCDや，プロテクトフィルムやスタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると，故障の原因になります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は，事故の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に 依頼する



本機の実り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買上げの販売店にご依頼ください。

配線作業中はバッテリーの ⊖端子を必ずはずす



説明に従って正しく配線しないと、ショートによる感電やけが、および発火や故障の原因になります。

運転や乗り降りをおげたり、破損しないようにコードを引き回す

運転や乗り降りをおげられると、事故やけがの原因になります。

コードが傷んだまま使用すると、ショートや断線により、発火や故障の原因になります。



- 傷つける、無理に引張る、折り曲げる、ねじる、束ねる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。
- 車体やねじ、およびシートレールの可動部にはさみ込まないよう整形し、固定する。
- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足等に巻き付かないよう、引き回す。

電池は正しく扱う

電池を正しく扱わないと、破裂や液もれにより、発熱・発火、けがや故障、周囲を汚染する原因になります。



- 電池は極性表示 (+ と -) を確かめて、指示どおり正しく入れる。
- 指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
- 使いきった電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 電池を廃棄や保存するときは、テープを巻きつけたり、ビニール袋などに入れて絶縁する。
- 充電・ショート・分解・変形・加熱・火や水の中に入れる・金属物と接触させるなどしない。
- 窓を閉め切った車の中、車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど、著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
- 乳幼児の届くところに置かない。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

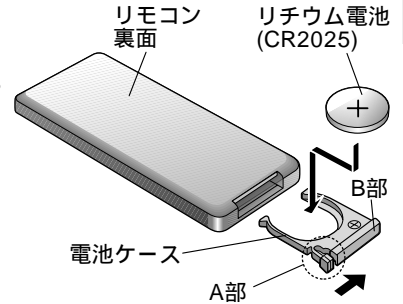
付属品の確認

- 1. 取扱説明書.....1
- 2. 取り付け用部品.....ねじ一式 (P.50 参照)
- 3. 電源コード.....1
- 4. 保証書.....1
- 5. お客様ご相談窓口一覧表.....1

リモコン (別売CA-RC55D)

電池の入れかた

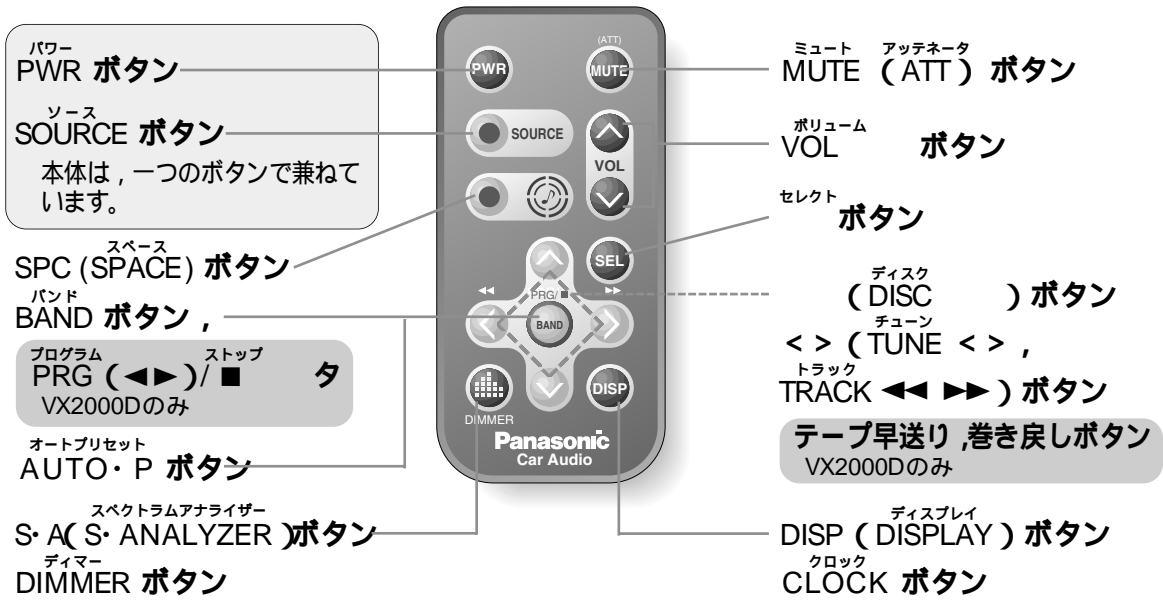
1. **電池ケースを出す。**
A部を矢印の方向に押しながら、B部を持って引っ張り出してください。
2. **リチウム電池(CR2025)を入れる。**
(+) (-) を間違えないように右図どおりに入れてください。
3. **電池ケースを入れる。**
最後まできちんと入れてください。



使用する電池

- 使用電池 : パナソニック リチウム電池 (CR2025)
- 電池の寿命 : 通常の使用状態で約6ヶ月 (常温時)

本体の ^{センサー}SENSOR (リモコン受光部) に向けて、操作してください。(P.8 参照)
 操作は、本体のボタンで説明しています。リモコンと本体にはボタンの数や操作に相違がありますが、特にことわりのない限り同様に操作してください。



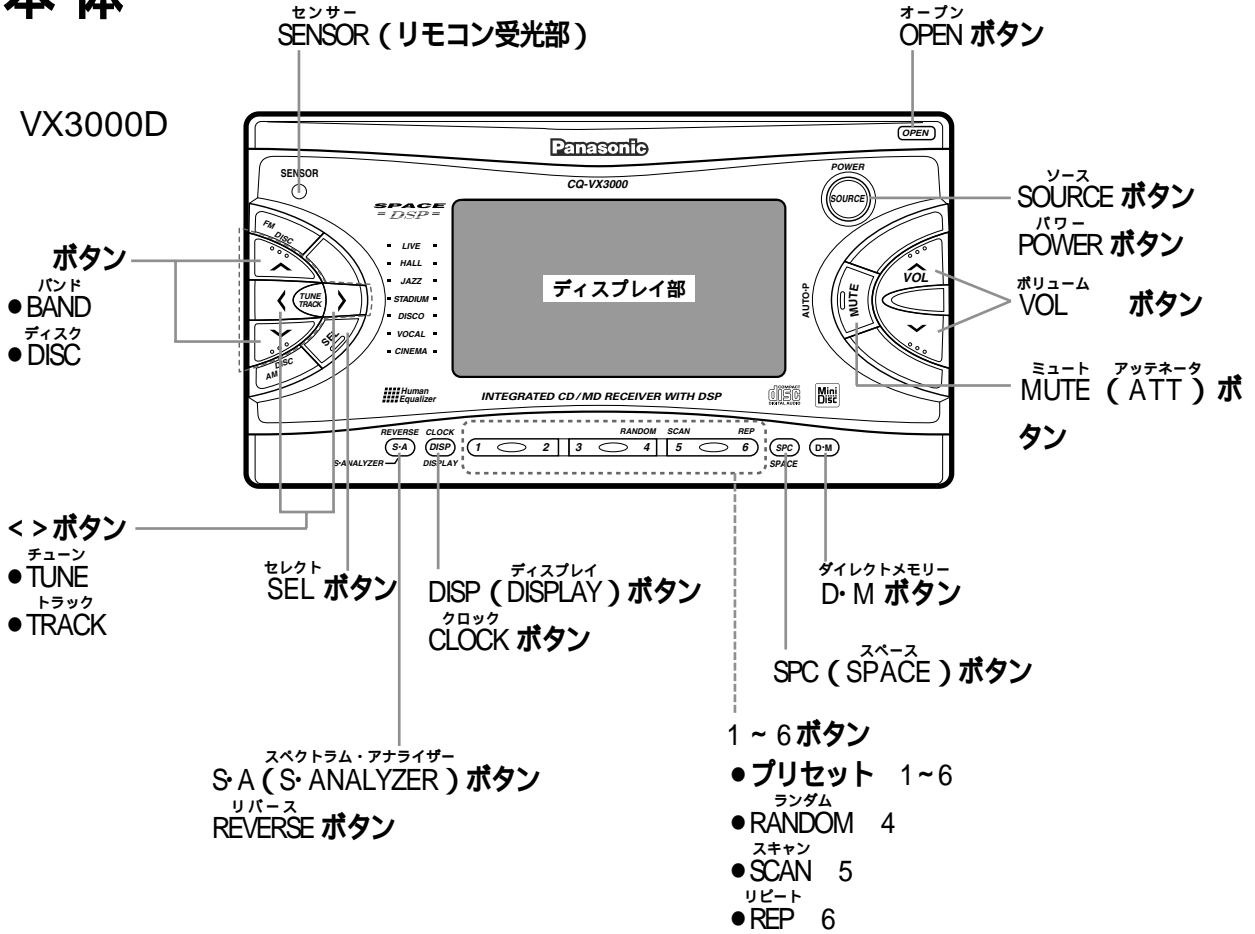
お知らせ

- リモコンは他の一部の機種にも使用できるように設計されており、本機に使用しない文字の印刷もあります。
- 次のボタンは、リモコンにはありません。本体で操作してください。
 OPEN ボタン, CD ▲ ボタン, MD ▲ ボタン, D・M ボタン, 1 ~ 6 ボタン,
 RANDOM ボタン, SCAN ボタン, REP (REPEAT) ボタン, REVERSE ボタン
 CST ▲ ボタン, MTL ボタン, B NR ボタン, TPS ボタン, SKIP ボタン VX2000Dのみ

各部のなまえ

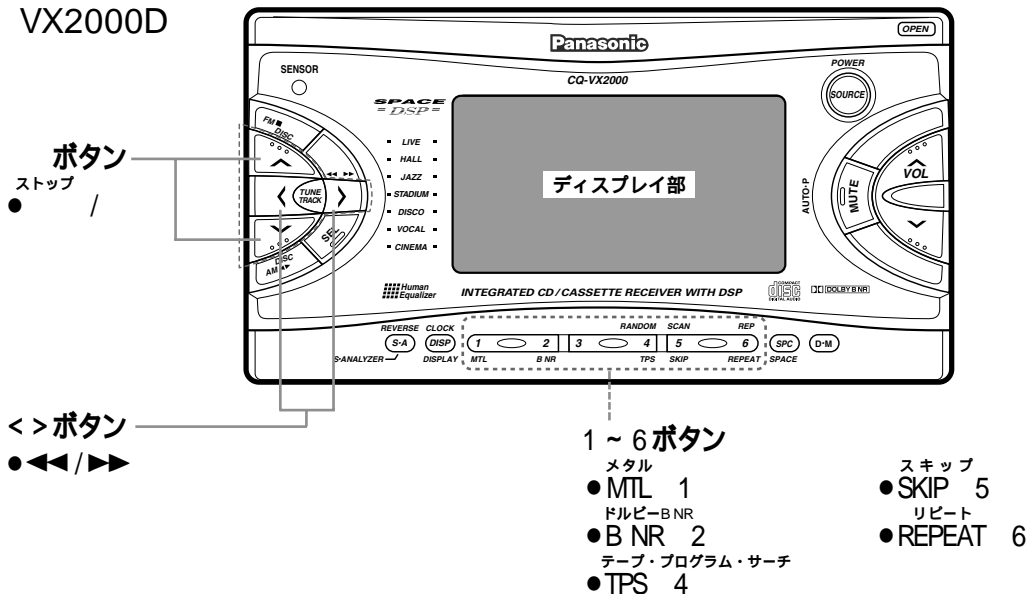
本体

VX3000D



カセットテープの操作に使用するボタン

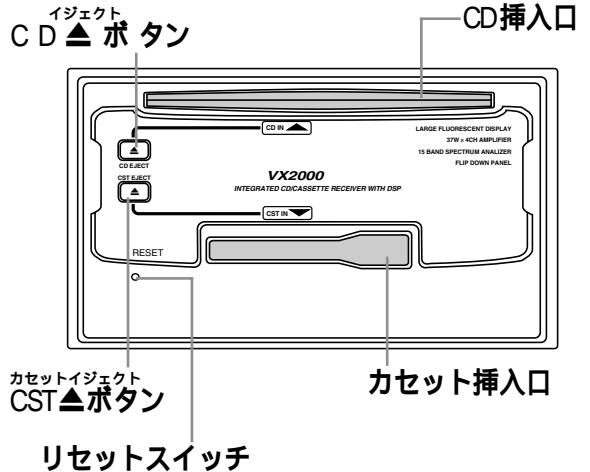
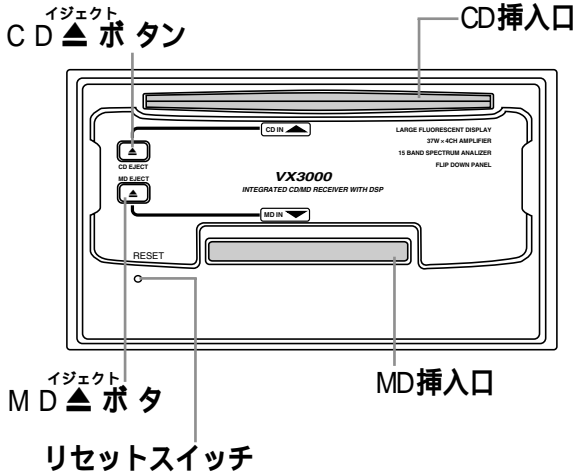
VX2000D



内部パネル部

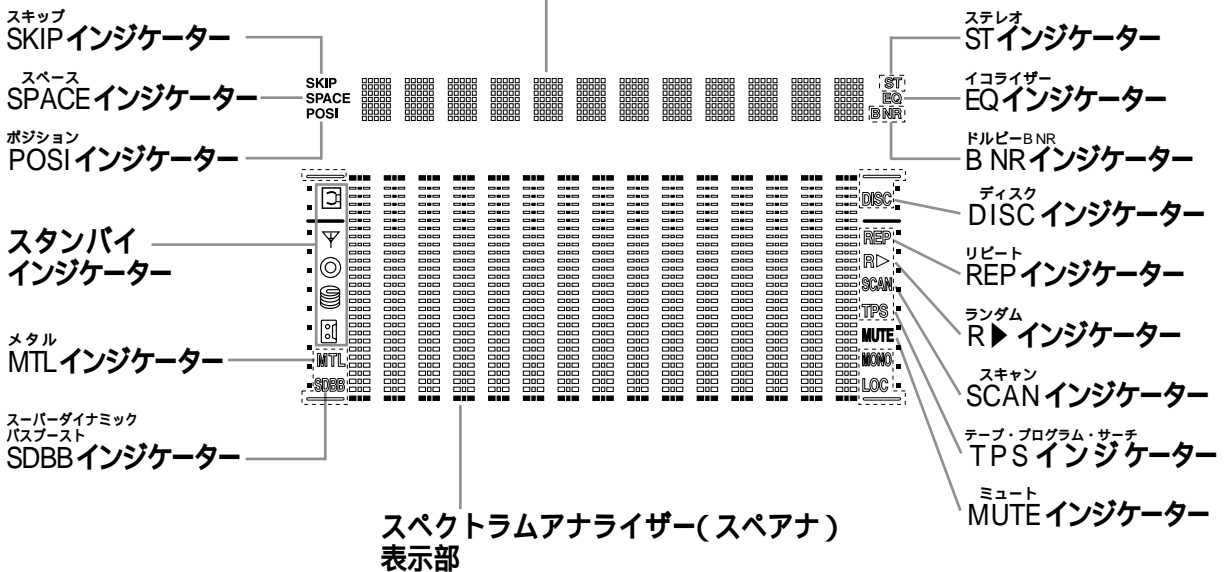
VX3000D

VX2000D

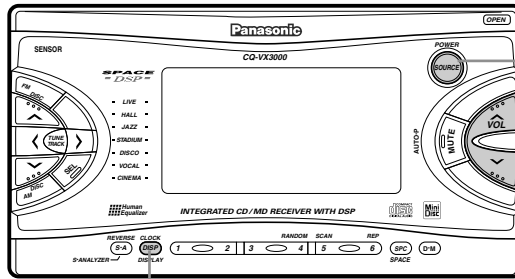


ディスプレイ部

文字表示部



共通の操作



ソース パワー
SOURCE, POWERボタン

ボリューム
VOL ボタン

ディスプレイ
DISPボタン

はじめに、車のエンジンをかけてください。（「ACC ON」の位置でも可）

電源を入れる

POWER ボタンを押す。

電源を入れたとき、デモが表示されます。（デモモード）

デモモードのときは、ボタン操作ができません。

ご使用になる前に、デモモードを解除してください。 DISP ボタンを押す

- 再度、デモモードを表示させたいときは
一度電源を切ってから本体のPOWER ボタンを1秒以上押して電源を入れる

POWER



DISP



電源を切る

POWER ボタンを1秒以上押す。

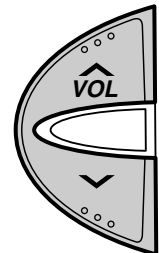
POWER



1秒以上押す

音量を調整する

VOL ボタンを押す。



お知らせ

音量はソースごとに記憶される（「TUNER」はFM/AM別に記憶される）ので、ソースを切り替えると音量も変わります。 インテリジェントボリューム機能

警告



運転者は走行中に操作をしない

走行中の操作は、前方不注意による交通事故の原因になります。
安全な場所に停車し、操作してください。

音源(ソース)を選ぶ

SOURCE ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。

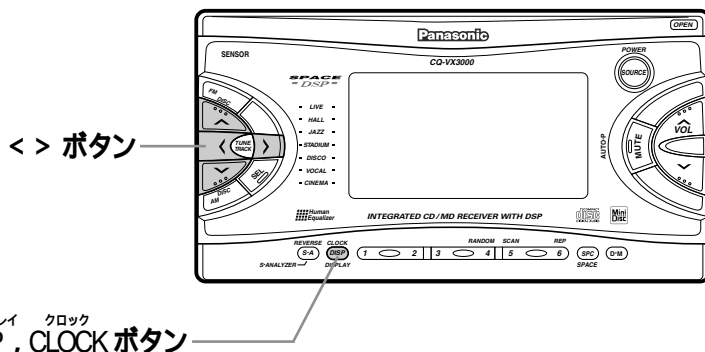


	VX3000D			VX2000D	
TUNER	CD	MD	TUNER	CD	TAPE
AUX IN		CHANGER	AUX IN		CHANGER

お知らせ

- ディスクやテープが入っていない、チェンジャーが接続されていない、チェンジャーにマガジンが入っていないときは、そのソースに切り替わりません。
- 「AUX IN」(外部入力)をご使用にならない場合には、切り替わらないように設定できます。(P.34 参照)

共通の操作 (つづき)

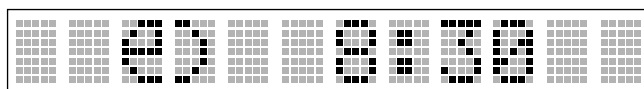


時計を調整する

- 時計は24時間表示です。

① CLOCK ボタンを2秒以上押して、時間調整モードにする。

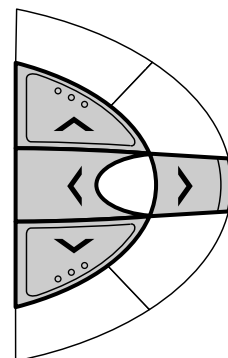
- 時間表示が点滅します。
(初めて調整するときは、“0:00”の表示が点滅します。)



2秒以上押す

② <> ボタンで、調整する。

- < : 時間の調整になる。 ● 時間表示が点滅します。
- > : 分の調整になる。 ● 分表示が点滅します。
- : 時 / 分が進む。
- : 時 / 分が戻る。



③ CLOCK ボタンを押して、時刻を確定する。

- 通常モードに戻り、時計が動き始めます。



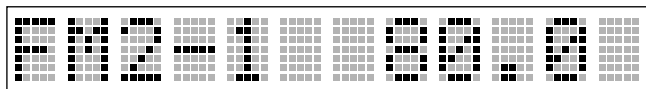
時計を表示するには...

DISP ボタンを押して、切り替える。(次ページ参照)

お知らせ

- 電源が切れているときは、調整できません。
- MDタイトルスクロールを「OFF」にして表示しているときは、時計調整できません。
MDタイトルが、一周だけスクロールします。(P.33 参照)

文字の表示を切り替える



DISP ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。



- 各ソースの通常表示
 - 時計表示
 - ドットスペアナ表示（スペアナのように音に合わせて光が上下する）
 - MDのディスクタイトル表示（アルバム名など）
 - MDのトラックタイトル表示（曲名など）

電源が切れているときにDISP ボタンを押すと、
次のように切り替わります。

- 時計・スタンバイ（待機表示）
 - 時計のみ
 - 表示なし

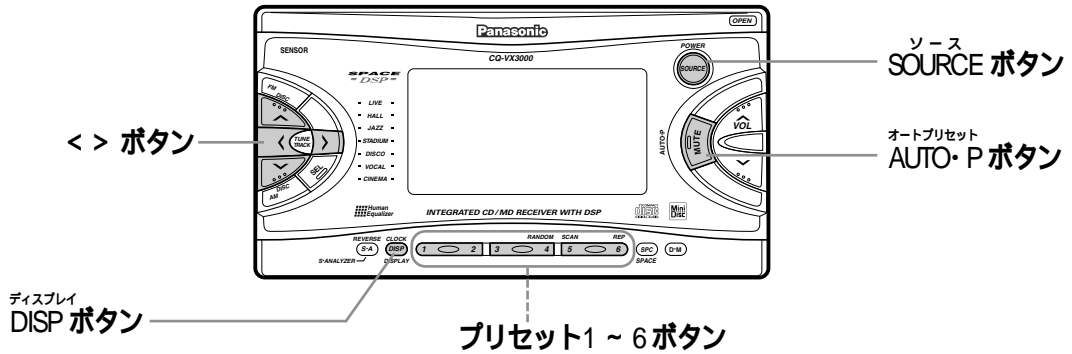
お知らせ

- 時計を調整していないときは、時計表示のときに“ADJUST”と表示されます。

MDタイトルについて

- ソースがMDまたはMDチェンジャーでないときは、タイトル表示に切り替わりません。
- 英数字・カタカナで表示します。（スクロール時の最大表示60文字）
- タイトル情報が記録されていないMDのときは、“NO TITLE”と表示されます。
- MDタイトルの表示は「スクロールする/しない」を設定できます。（P.33 参照）

ラジオを聴く



音源（ソース）を「TUNER」にする

SOURCE ボタンを押す。



バンドを選ぶ

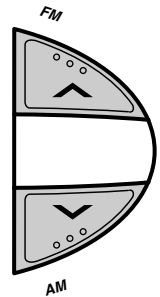
ボタンを押す。

(FM)：FMバンドが切り替わる。 FM1 FM2
(AM)：AMバンドが切り替わる。 AM1 AM2

お知らせ

リモコンは、BAND ボタンを押す。 FM1 FM2 AM1 AM2

● FMステレオ放送を受信すると、STインジケータが点灯します。

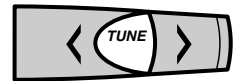


放送局を選ぶ

手動選局（順送り）

<> ボタンを押す。

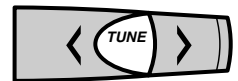
< (TUNE <)：周波数が下がる。
> (TUNE >)：周波数が上がる。



自動選局（シーク）

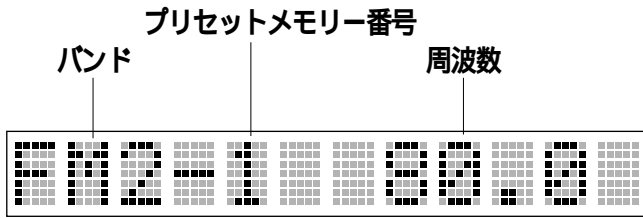
<> ボタンを0.5秒以上押し続けて離す。

< (TUNE <)：周波数が下り自動選局する。
> (TUNE >)：周波数が上り自動選局する。



● ボタンをはなした時点から探し始め、放送局があるところで止まります。

0.5秒以上押し続けて離す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
DISPを押す (P.13 参照)

放送局を記憶させる

手動メモリー (プリセットメモリー)

放送局を選び、
本体のプリセット1～6ボタンの何れか一つを、2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、押したボタンにメモリーされます。
(バンドごとに6局まで可能)
- メモリーが完了すると、周波数表示が1回点滅します。

例)

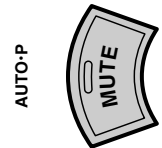


2秒以上押す

自動メモリー (オートプリセットメモリー)

AUTO・P ボタンを 2秒以上押す。

- 現在受信しているバンド内で一番下の周波数から放送局を探し始め、受信状態の良い順にプリセット1～6ボタンへ記憶されます。(バンドごとに6局まで可能)
- 終了すると、記憶された放送局が約5秒ずつ次々に呼び出されます。スキャン



AUTO・P

2秒以上押す

スキャンを解除するには

本体のプリセット1～6ボタンの何れか一つを押して、聴きたい放送局を選ぶ。

例)



お知らせ

プリセットメモリーやオートプリセットメモリーをすると、前に記憶されていた放送局が消去され、新しい放送局を上書きします。

記憶させた放送局を呼び出す

プリセット受信

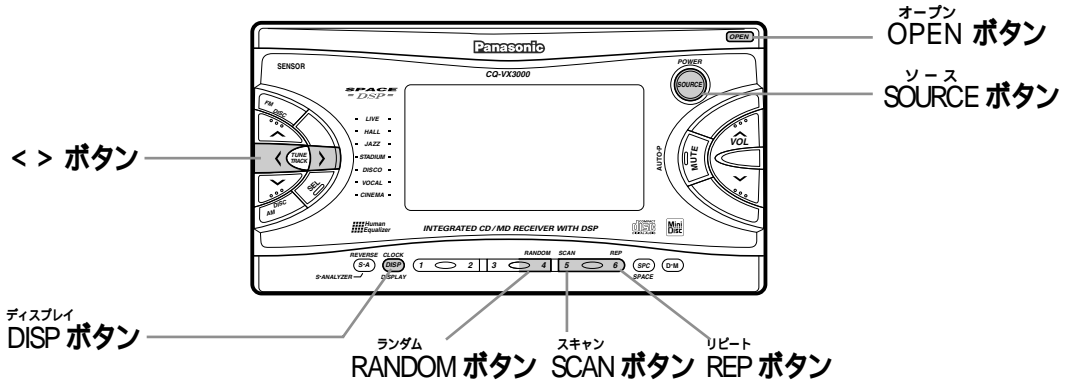
本体のプリセット1～6ボタンの何れか一つを押す。

- 現在のバンドで記憶されている放送局を呼び出して、受信します。

例)

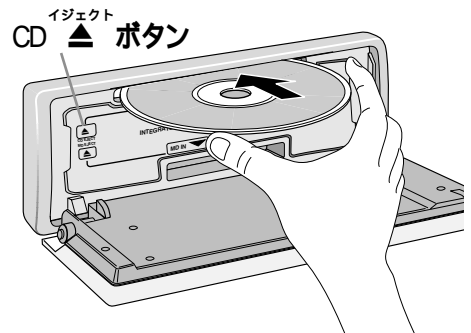


CDを聴く



CDを入れる

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
パネルが開きます。
- ② ラベル面を上側にして、CDを挿入口に差し込む。
CDの再生が始まります。
- ③ パネルを閉める。
パネルを押し上げて、戻す。



CDを取り出すには

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
- ② CD ▲ ボタンを押す。
 - CDモードのときに取り出すと、電源が切れます。

お願い

- CDの挿入口に、MDを入れな
いでください。
- パネルの開閉を妨げないで
ください。
- 開いたパネルの上に物を置い
たり、無理な力をかけたりし
ないでください。

音源（ソース）を「CD」にする

SOURCE ボタンを押す。



聴きたい曲を選ぶ

< > ボタンを押す。

- < (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- > (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



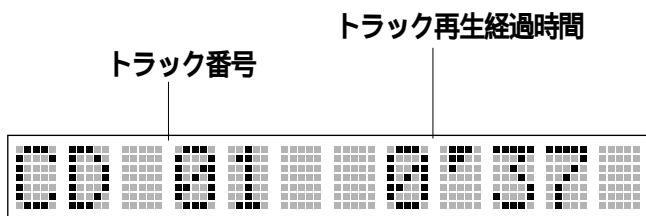
早戻し/早送りをする

< > ボタンを0.5秒以上押して、聴きたいところではなす。

- < (TRACK <) : 早戻しする。
- > (TRACK >) : 早送りする。



0.5秒以上押す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
DISPを押す (P.13 参照)

順不同で曲を聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと、解除)



聴きたい曲を探す

スキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周するとSCANを終了し、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、スキャンを解除してください。



同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタンを押す。(再度押すと、解除)



⚠ 注意

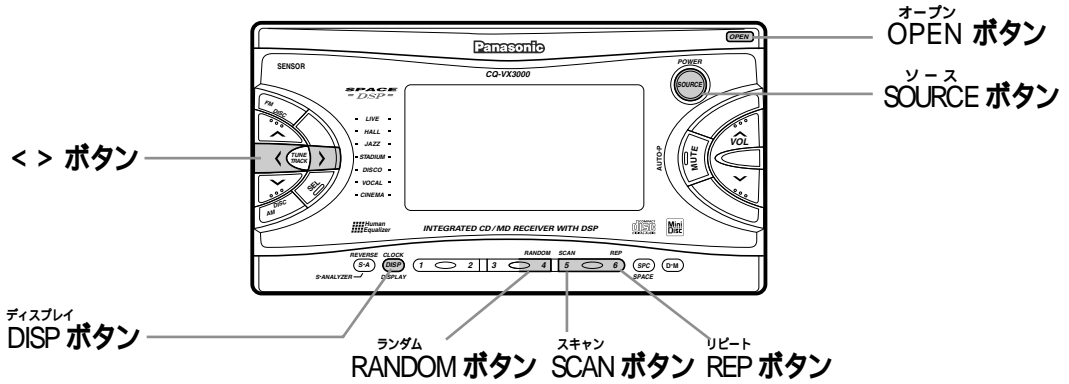


禁止

可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れない

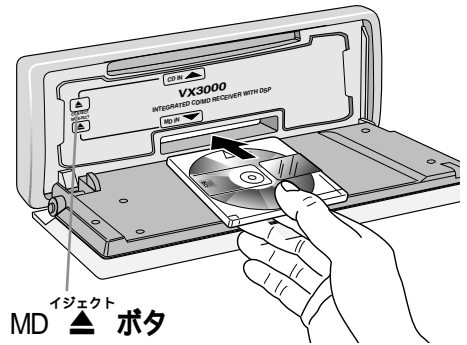
可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

MDを聴く VX3000Dのみ



MDを入れる

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
パネルが開きます。
- ② ラベル面を上側にして MDを挿入口に差し込む。
MDの再生が始まります。
- ③ パネルを閉める。
パネルを押し上げて、戻す。



お願い

- MDの挿入方向と表裏をご確認ください。無理に挿入すると、故障の原因になります。
- パネルの開閉を妨げないでください。
- 開いたパネルの上に物を置いたり、無理な力をかけたりしないでください。

MDを取り出すには

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
- ② MD ▲ ボタンを押す。
● MDモードのときに取り出すと、電源が切れます。

音源(ソース)を「MD」にする

SOURCE ボタンを押す。



聴きたい曲を選ぶ

<> ボタンを押す。

- < (TRACK <) : 現在再生している曲から順に、前の曲を頭出しする。
- > (TRACK >) : 次の曲を頭出しする。



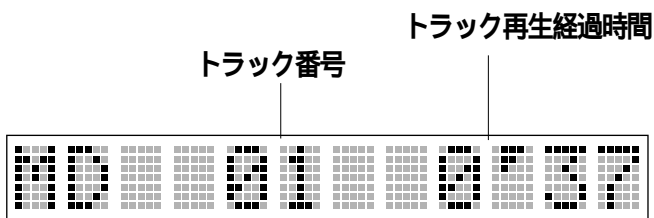
早戻し/早送りをする

<> ボタンを0.5秒以上押して、聴きたいところではなす。

- < (TRACK <) : 早戻しする。
- > (TRACK >) : 早送りする。



0.5秒以上押す



表示例) 通常表示

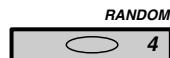
表示を切り替えるには
(MDタイトル情報も表示できます)
DISPを押す (P.13 参照)

順不同で曲を聴く

ランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと、解除)



聴きたい曲を探す

スキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周するとSCANを終了し、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、解除してください。



同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタンを押す。(再度押すと、解除)



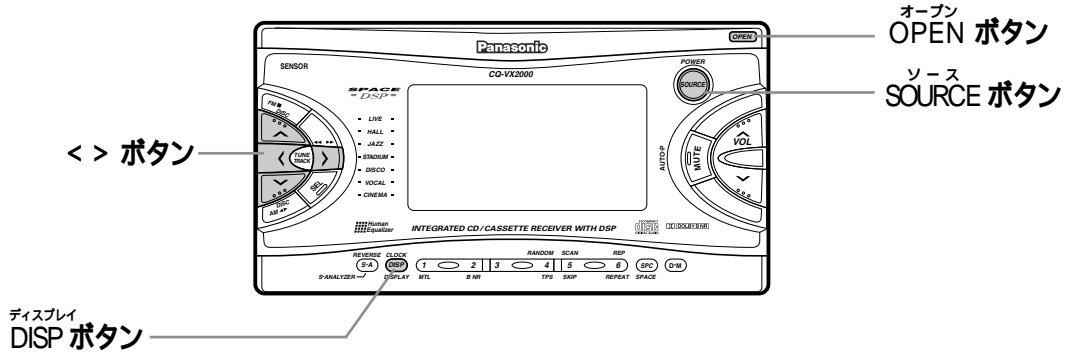
⚠ 注意



可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れない

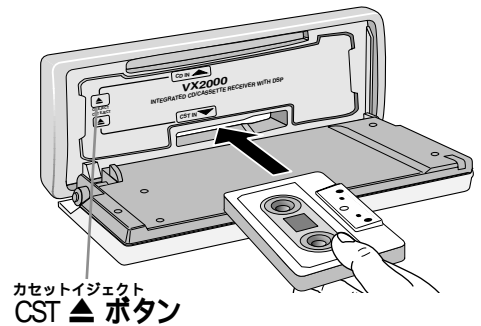
可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

カセットテープを聴く VX2000Dのみ



カセットテープを入れる

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
パネルが開きます。
- ② テープ面を右側にして、
カセットテープを挿入口に差し込む。
カセットテープの再生が始まります。
- ③ パネルを閉める。
パネルを押し上げてもとに戻します。



お願い

- パネルの開閉を妨げないでください。
- 開いたパネルの上に物を置いたり、無理な力をかけたりしないでください。

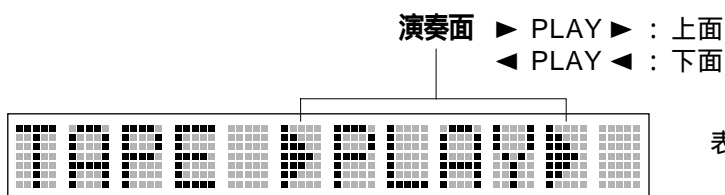
カセットテープを取り出すには

- ① 本体の OPEN ボタンを押す。
- ② CST ▲ ボタンを押す。
 - TAPEモードのときに取り出すと、電源が切れます。

音源（ソース）を「TAPE」にする

SOURCE ボタンを押す。





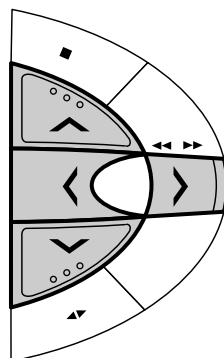
表示を切り替えるには
DISPを押す (P.13 参照)

演奏面を切り替える

ボタン (◀▶PRG) を押す。

(リモコンは、PRG/■ ボタンを押す。)

- 押すごとに、カセットテープの演奏面が次のように切り替わります。
 - ▶ PLAY ▶ (上面) ◀ PLAY ◀ (下面)
- テープの終端になると、自動的に演奏面を切り替えて再生します。
オートリバースシステム



巻戻し/早送りをする

< > ボタンを押す。

- < (◀◀): 巻戻しする (REW)。テープの先頭になると自動的に再生が始まります。
- > (▶▶): 早送りする (FF)。テープの終端になると自動的に演奏面が切り替わり、再生が始まります。

巻き戻し/早送りを解除したいときは、■ ボタンを押す。
(リモコンは、PRG/■ ボタンを押す。)

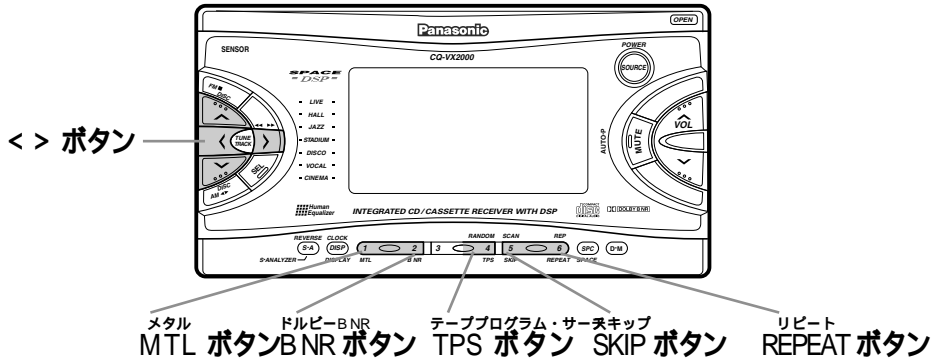
⚠ 注意



可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れない

可動部やディスク/テープ挿入口に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

カセットテープを聴く VX2000Dのみ (つづき)

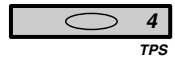


聴きたい曲を頭出しする

TPS

TPS (Tape Program Search : テープ プログラム サーチ) で曲間の無音部分を検出し、曲が頭出しされます。

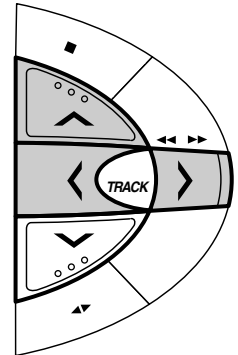
① 本体の TPS ボタンを押す。(再度押すと、解除)



② <> ボタンを押して、選曲する。

- <(TRACK ◀◀) : テープを巻戻して、現在再生している曲の頭へ戻る。
押すごとに、前の曲を頭出しする。(最大8曲まで)
● 押した回数分、曲が前に戻ります。
- >(TRACK ▶▶) : テープを早送りして、次の曲を頭出しする。
(最大9曲まで)
● 押した回数分、曲を次に送ります。

途中で巻き戻し/早送りを解除したいときは、ボタン(■)を押す。
(リモコンは、PRG/■ ボタンを押す。)



お知らせ

次のような場合、TPSが正常にはたらかないことがあります、故障ではありません。

- カセットテープの曲間の無音部分が4秒未満のとき。
- 曲中に特にレベルの低いところや無音部分があるとき。

無音部分をとばしながら聴く

ブランクスキップ

曲間やテープ終端の無音部分が自動的に早送りされ、次の曲までの間をつめて再生されます。

本体の SKIP ボタンを押す。(再度押すと、解除)



お知らせ

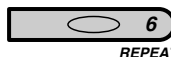
- 無音部分が15秒未満のときは、はたらきません。
- ブランクスキップよりも、リピートの方が優先されます。

同じ曲をくり返し聴く

リピートプレイ

現在再生している曲が自動的に巻戻され、くり返して再生されます。

本体の REPEAT ボタンを押す。(再度押すと、解除)



メタルテープを聴く

メタルテープ再生

メタルテープやクロームテープを再生するときの機能です。

メタルテープやクロームテープを再生するときに、テープの特性に合った音質で再生します。

本体の MTL ボタンを押す。(再度押すと、解除)



お知らせ

ノーマルテープをメタルテープモードで再生すると、高域周波数のアンバランスを引き起こし、音質に影響します。

ドルビーB NR テープを聴く

ドルビーB NR

ドルビーB NRテープを再生するときの機能です。

ドルビーB NR で録音したカセットテープを再生するときに、「サー」という高音域の雑音(ヒスノイズ)を減らします。

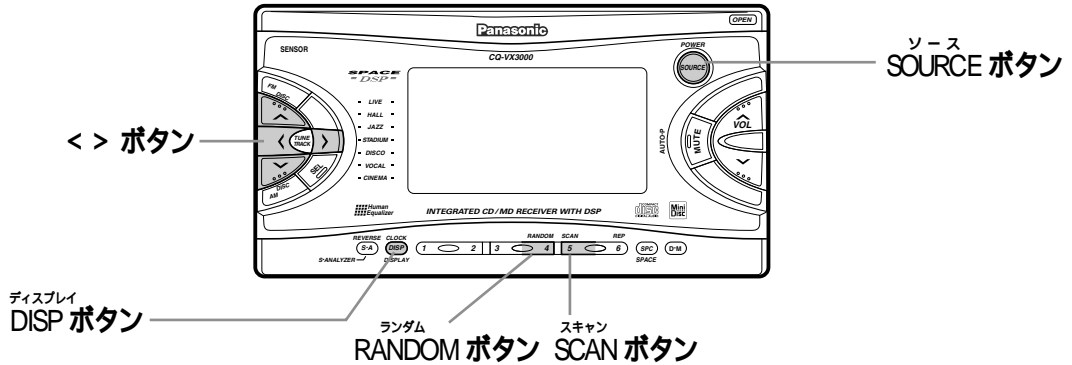
本体の BNR ボタンを押す。(再度押すと、解除)



お知らせ

- ドルビーB NRは、TUNERモードでは操作できません。
- ドルビーB NRを使用していないカセットテープをドルビーB NRモードで再生すると、高域周波数のアンバランスを引き起こし、音質に影響します。

チェンジャー（別売）でCD/MDを聴く



別売のCDチェンジャー（CX-DP1205D等）やMDチェンジャー（CX-MD6D）を接続してください。

音源（ソース）を「CHANGER」にする

SOURCE ボタンを押す。



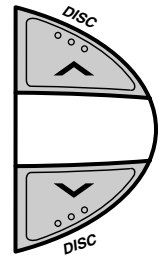
お知らせ

- マガジンの中にディスクが1枚も入っていないときは，“NO DISC”と表示されます。
- チェンジャーにマガジン（ディスク）を入れると本機の電源が入ります。（ソースが「CHANGER」に切り替わる）

聴きたいディスクを選ぶ

ボタンを押す。

- （DISC \uparrow ）：次のディスクに替わる。
- （DISC \downarrow ）：前のディスクに替わる。



聴きたい曲を選ぶ

<> ボタンを押す。

- <（TRACK <）：現在再生している曲から順に，前の曲を頭出しする。
- >（TRACK >）：次の曲を頭出しする。



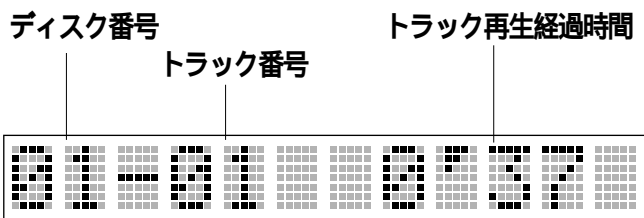
早戻し/早送りをする

<> ボタンを0.5秒以上押して，聴きたいところではなす。

- <（TRACK <）：早戻しする。
- >（TRACK >）：早送りする。



0.5秒以上押す



表示例) 通常表示

表示を切り替えるには
(MDは、タイトル情報も表示できます)
DISPを押す (P.13 参照)

順不同で曲を聴く

トラックランダムプレイ

チェンジャー内の全ディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを押す。(再度押すと、解除)



ディスクランダムプレイ

現在再生しているディスクの中から、規則性のない順番で再生されます。

本体の RANDOM ボタンを2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)



2秒以上押す

聴きたい曲やディスクを探す

トラックスキャンプレイ

現在再生している曲の次から、ディスクの全曲が、約10秒ずつ再生されます。

本体の SCAN ボタンを押す。(再度押すと、解除)

- 一周すると解除され、もとの曲の始めに戻ります。
- 聴きたい曲が見つかったときは、解除してください。



ディスクスキャンプレイ

現在再生しているディスクの次から、チェンジャー内の全ディスクの1曲目だけが、約10秒ずつ再生されます。

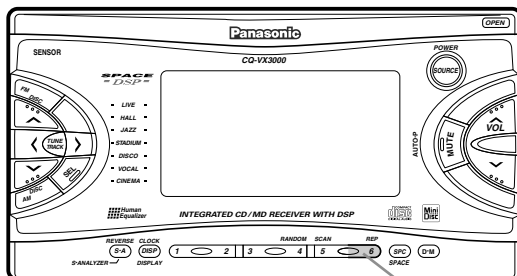
本体の SCAN ボタンを 2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)

- 一周すると解除され、もとのディスクの始めに戻ります。
- 聴きたいディスクが見つかったときは、解除してください。



2秒以上押す

チェンジャーでCD/MDを聴く (つづき)



リピート
REP ボタン

同じ曲やディスクをくり返し聴く

トラックリピートプレイ

現在再生している曲が、くり返して再生されます。

本体の REP ボタン を押す。(再度押すと、解除)



ディスクリピートプレイ

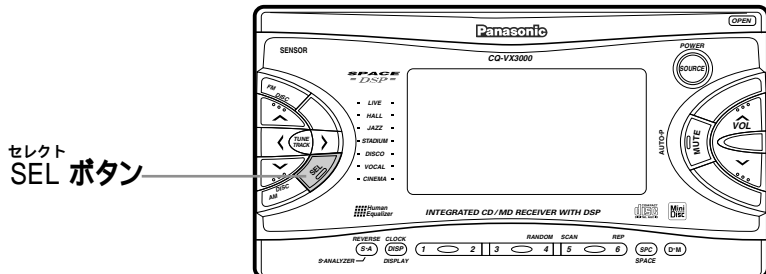
現在再生しているディスクが、くり返して再生されます。

本体の REP ボタン を 2秒以上押す。(再度2秒以上押すと、解除)



2秒以上押す

サウンド・音場を設定する



サウンド設定の項目を選ぶ

サウンドコントロール

SEL ボタンを押して、項目を選ぶ。

- 押すごとに、次のように切り替わります。



→ 通常モード

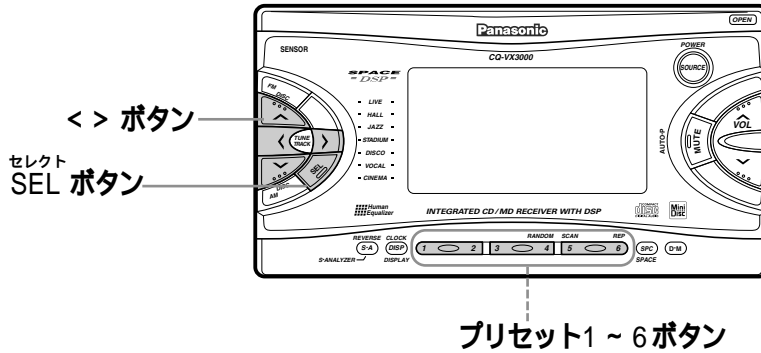
- HUMAN EQ : 音楽や気分に合った音質を選ぶ(ヒューマンイコライザー)(P.28 参照)
- GRAPHIC EQ : 周波数ごとのレベル調整で音質を調整する(グラフィックイコライザー)(P.29 参照)
- BAL//FAD : 前後左右の音量バランスを調整する(P.29 参照)
- POSITION SEL : 乗車位置に合わせた音像にする(P.30 参照)
- SUPER BASS : 低音の厚みを調整し、リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する。(P.30 参照)
- SDBB SELECT : 低音域を増強する(P.31 参照)

各々の項目の設定は、P.28～31をご覧ください。

お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 操作を途中でやめるには DISPボタンを押す。

サウンド・音場を設定する（つづき）

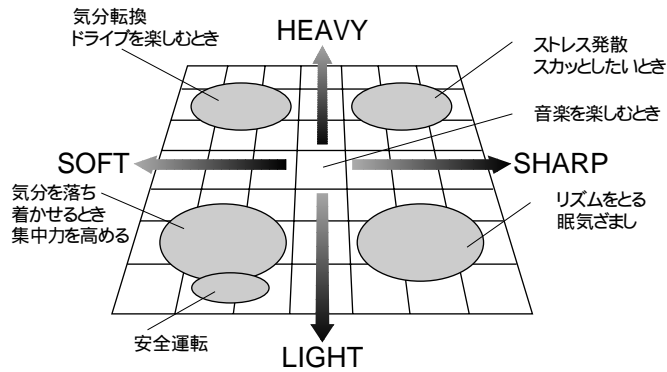


音楽や気分にあった音質を選ぶ（ヒューマンイコライザー）

HEQ

音楽のジャンルや自分の気分にあった音質を設定してください。

（縦軸：低音域の豊かさ，横軸：高音域の明快さ）[初期設定：FLAT (0)，調整範囲：各1～3（49パターン）]

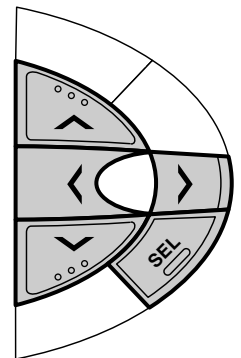


① SEL ボタンを押して「HUMAN EQ」を選ぶ。（P.27 参照）

② <> ボタンを押して，調整する。

- （HEAVY）：豊かな低音に変化する。
- （LIGHT）：軽快な低音に変化する。
- <（SOFT）：柔らかな高音に変化する。
- >（SHARP）：歯切れのよい高音に変化する。

● HEQ 表示部の中でカーソルが移動し，調整した位置で点滅します。



周波数ごとのレベル調整で音質を設定する(グラフィックイコライザー)

G E Q

- ① SEL ボタンを押して「GRAPHIC EQ」を選ぶ。(P.27 参照)

[初期設定：各周波数 0 dB，調整範囲：-12 dB ~ +12 dB (2 dBごと)]

- ② > ボタンを押して，周波数を選ぶ。(< ボタン：逆回り)

80 160 320 640 1.6 k 4 k 10 k (Hz)

- カーソルが左右方向に移動し，選択している周波数が点滅します。

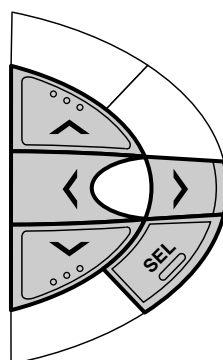
- ③ ボタンを押して，レベルを調整する。

：レベルが上がる。

：レベルが下がる。

- カーソルが上下方向に移動し，調整したレベルで点滅します。

- ②③を繰り返して，各周波数のレベルを設定する。



例)



2秒以上押す

調整した音質を記憶する

本体のプリセット1 ~ 6 ボタンの何れか一つを，2秒以上押す。

- 現在のGEQカーブ特性が，押したボタンに記憶されます。
- 記憶が完了すると，プリセットメモリー番号の表示が1回点滅します。

お知らせ

前に記憶されていたGEQカーブ特性を消去し，新しいGEQカーブが上書きされます。

記憶した音質を呼び出す

- ① SEL を押して「GRAPHIC EQ」を選ぶ。(P.27 参照)

- ② 本体のプリセット1 ~ 6 ボタンの何れか一つを押す。

- メモリーされているGEQカーブ特性を呼び出します。

例)



前後左右の音量バランスを調整する

バランス/フェダー

[初期設定：CNT (センター)，設定範囲：各15]

- ① SEL ボタンを押して「BAL//FAD」を選ぶ。(P.27 参照)

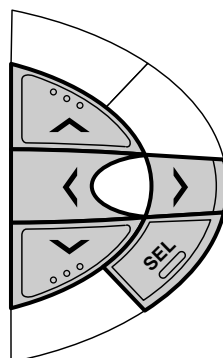
- ② < > ボタンを押して，調整する。

(FRONT)：前方を強調する。

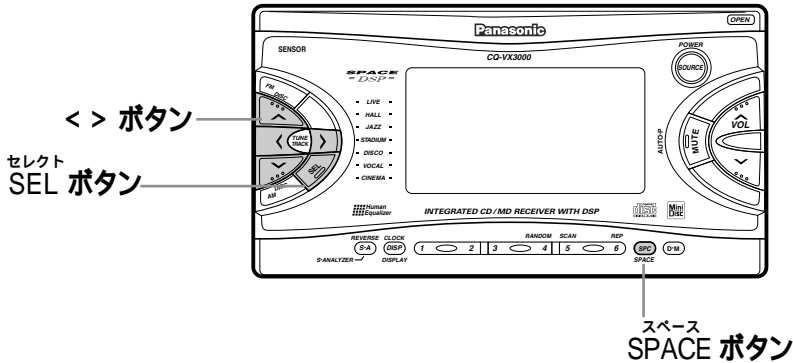
(REAR)：後方を強調する。

< (LEFT)：左側を強調する。

> (RIGHT)：右側を強調する。



サウンド・音場を設定する（つづき）

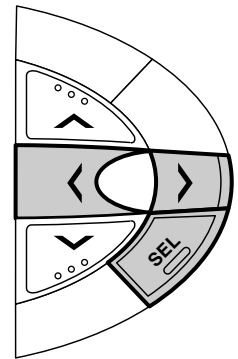


乗車位置に合わせた音像にする

ポジション [初期設定：OFF]

- ① SEL ボタンを押して「POSITION SEL」を選ぶ。(P.27 参照)
- ② > ボタンを押して、設定する。(< ボタン：逆回り)

OFF (全席) RIGHT (前席右) LEFT (前席左)
 REAR (後席) FRONT (前席)

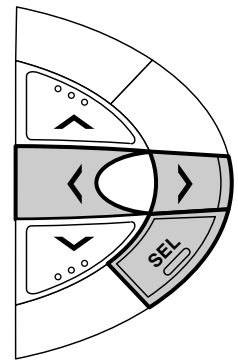


低音の厚みを調整し、リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する

スーパーベースコントロール・サブウーファー (SBC-SW) [初期設定：SBC-SW OFF]

- ① SEL ボタンを押して「SUPER BASS」を選ぶ。(P.27 参照)
- ② > ボタンを押して、設定する。(< ボタン：逆回り)

- ➔ SBC-SW OFF : ステレオ出力
- SBC-SW FLAT : 高音域をカットしない(モノラル出力)
- SBC-SW 100Hz : 100Hz以上の高音域をカットする(モノラル出力)
- SBC-SW 150Hz : 150Hz以上の高音域をカットする(モノラル出力)
- SBC-SW 200Hz : 200Hz以上の高音域をカットする(モノラル出力)



お知らせ

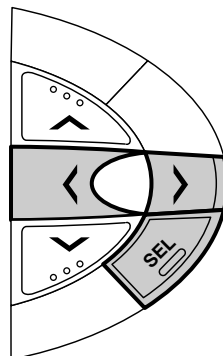
- SBC-SWの設定(「OFF」以外)は、プリアウト(リヤ)にも連動します。
- 別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数調整機能を使用する場合は、本機のSBC-SWの設定を「FLAT」にしてください。

低音域を増強する

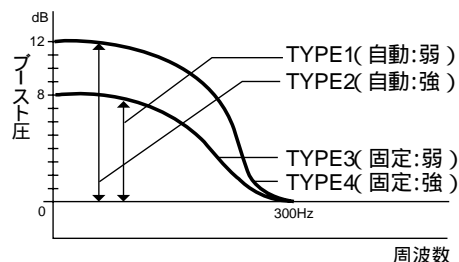
スーパーダイナミックバスブースト (SDBB) [初期設定: SDBB OFF]

内蔵アンプ接続の4スピーカーから出力される低音域を増強して、重低音が楽しめます。

- ① SEL ボタンを押して「SDBB SELECT」を選ぶ。(P.27 参照)
- ② > ボタンを押して、設定する。(< ボタン: 逆回り)



- OFF : 通常出力 (低音域を増強しない)
- TYPE 1 : 自動・弱
- TYPE 2 : 自動・強
- TYPE 3 : 固定・弱
- TYPE 4 : 固定・強



自動: 低音を音量レベルに合わせて自動的に増強する。バランスよい低音になる。

固定: 低音を設定された幅で増強する。迫力のある低音になる。

音場を再現する

SPACE (スペース) [初期設定: SPACE OFF]

実際に演奏会場にいるような音場 (スペース) を車室内に再現できます。

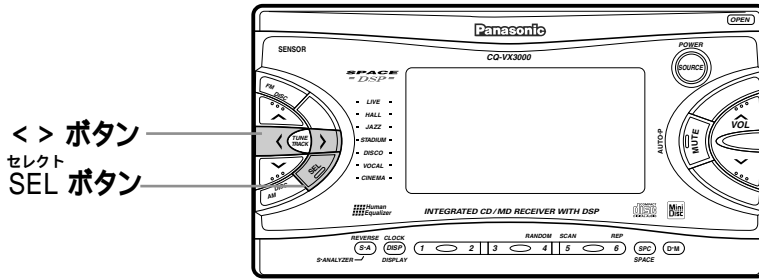
SPACE ボタンを押す。

- 押すごとに、次のように切り替わります。

SPACE OFF	LIVE HOUSE	CONCERT HALL
CINEMA		JAZZ CLUB
VOCAL	DISCO	STADIUM



その他の機能を設定する



設定する機能を選ぶ

機能コントロール

SEL ボタンを2秒以上押し、
再度 SEL ボタンを押して項目を切り替える。

- 押すごとに、次のように切り替わります。

通常モード

- ▶ BEEP SELECT : ボタン操作音の有無を選ぶ (P.33 参照)
- TITLE SCROLL : MDタイトル表示をスクロールする/しないを選ぶ (P.33 参照)
- SPEANA SPEED : スペアナ表示の動きの速さを選ぶ (P.33 参照)
- DIMMER SEL : ディスプレイの明るさを選ぶ (P.34 参照)
- AUX IN SET : 外部入力(AUX IN)に切り替わる/替わらないを選ぶ (P.34 参照)
- MUTE KEY SEL : MUTE (ATT)ボタンの機能を選ぶ (P.35 参照)



2秒以上押し
再度押す

各々の項目の設定は、P. 33 ~ 35をご覧ください。

お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 操作を途中でやめるには DISPボタンを押す。

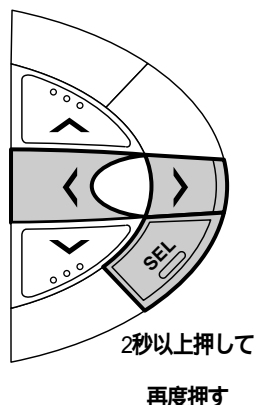
ボタン操作音の有無を選ぶ

ビープ音 [初期設定：BEEP ON]

① SEL ボタンで「BEEP SELECT」を選ぶ。(P.32 参照)

② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

- BEEP ON : 操作音が出る。(ビープ音)
- BEEP OFF : 操作音をなくす。(出なくなる)



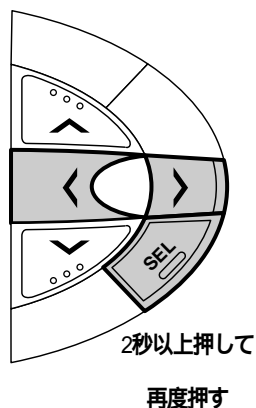
MDタイトル表示をスクロールする/しないを選ぶ

タイトルスクロール [初期設定：SCROLL ON]

① SEL ボタンで「TITLE SCROLL」を選ぶ。(P.32 参照)

② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

- SCROLL ON : 表示が連続してスクロールする。
- SCROLL OFF : 表示が一周スクロールしたあと、静止する。



お知らせ

MDタイトルスクロールが“OFF”のときにDISP ボタンを2秒以上押すと、一周だけスクロールすることができます。再スクロール

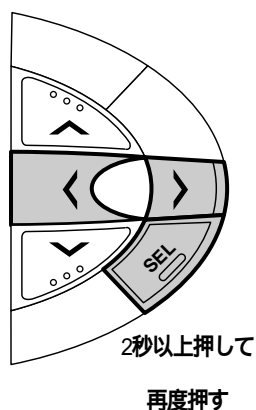
スペアナ表示の動きの速さを選ぶ

スペアナスピード [初期設定：SPEANA FAST]

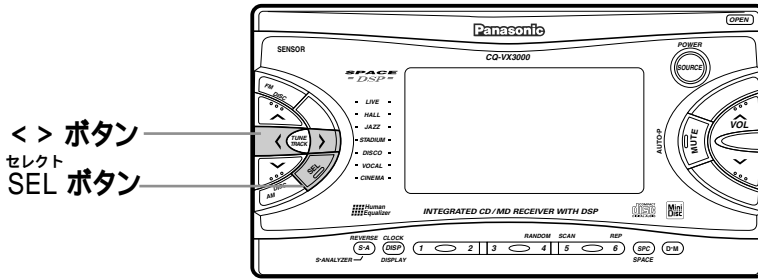
① SEL ボタンで「SPEANA SPEED」を選ぶ。(P.32 参照)

② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

- SPEANA FAST : スペアナ表示の動きが速くなる。
- SPEANA SLOW : スペアナ表示の動きが遅くなる。



その他の機能を設定する(つづき)



ディスプレイの明るさを選ぶ

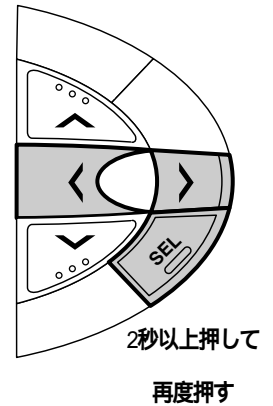
ディマー

[初期設定：ライトON時 ... MID, ライトOFF時 ... HIGH]

車のライトのON/OFFと連動します。

- ① SEL ボタンで「DIMMER SEL」を選ぶ。(P.32 参照)
- ② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

- DIMMER HIGH : 明るくなる
- DIMMER MID : 中間の明るさになる
- DIMMER LOW : 暗くなる



お知らせ

リモコンは、DIMMERボタンを2秒以上押すごとに切り替わります。

外部入力(AUX IN)に切り替わる/替わらないを選ぶ

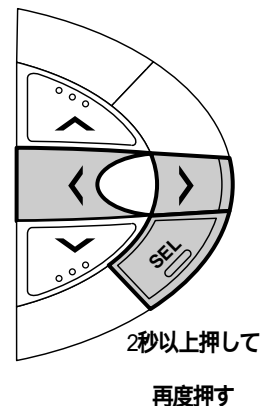
AUX IN 設定

[初期設定：AUX IN ON]

外部入力をご使用にならないときは、ソースを選ぶときに AUX IN へ切り替わらないよう設定できます。

- ① SEL ボタンで「AUX IN SET」を選ぶ。(P.32 参照)
- ② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

- AUX IN ON : SOURCE ボタンで、AUX IN へ切り替わる。
- AUX IN OFF : SOURCE ボタンで、AUX IN へ切り替わらない。



MUTE(ATT) ボタンの機能を選ぶ

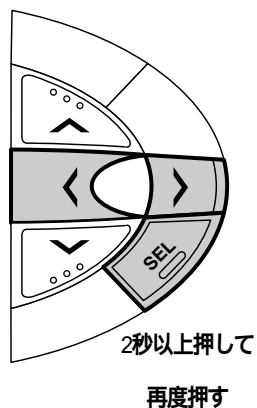
MUTE ボタン設定 [初期設定：MUTE KEY]

MUTE (ATT) ボタンを押したときの音量の上がりかたを選んでください。

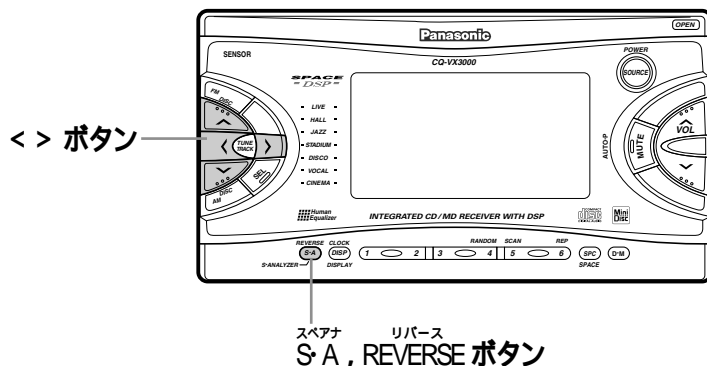
① SEL ボタンで「MUTE KEY SEL」を選ぶ。(P.32 参照)

② > ボタンを押して、切り替える。(< ボタン：逆回り)

- MUTE KEY : 音量の上がりかたが、0 (無音) になる。MUTE
- ATT KEY : 音量の上がりかたが、約 1/10 になる。ATT



便利な機能



スペアナ表示を切り替える

スペアナ表示 [初期設定：WAVE]

S-A ボタンを押す。

● 押すごとに、次のように切り替わります。(13種類)



- ① WAVE : スペースファンタジーの幕開けを予感させるシンプルなスペアナ。
- ② AURORA : 天にかかるオーロラのイメージ。
- ③ MILKY WAY : 宇宙空間に流れる雄大な天の川をイメージ。
- ④ TWINKLE STAR : 無数の星の瞬く瞬間をイメージ。
- ⑤ SUN : サンサンと降りそそぐ暖かさをイメージ。
- ⑥ SPC SARGASSO : 漂流する星のかけらの果てしない旅をイメージ。
- ⑦ BIG BANG : 宇宙創世。星の誕生をイメージ。
- ⑧ FLARE : 太陽から宇宙空間へのエネルギー解放現象をイメージ。
- ⑨ PROMINENCE : 太陽の表面で燃え上がる炎をイメージ。
- ⑩ METEOR : 無限に広がる宇宙空間を駆け巡る、流星群をイメージ。
- ⑪ SPACE FEVER : ある周波数の一定のレベルをキャッチすると、スロットがフィーバー目指して回る。
- ⑫ BLANK SPEANA : スペアナ表示だけを消灯する。
- ⑬ ALL DISP OFF : ディスプレイ全体を消灯する。
 - 操作をすると点灯し、操作を終えたあと(約5秒後)に再び消灯します。

お知らせ

文字部のドットスペアナ表示は、表示パターンの切り替えやアレンジができません。

スペアナ表示をアレンジする

スペアナリバース [初期設定：NORMAL / SPEANA POSI]

それぞれのスペアナ表示ごとに、色調や動きのパターンを8通りに変化させることができます。(スペアナ表示①～⑪のみ)

① 本体の REVERSE ボタンを2秒以上押して、

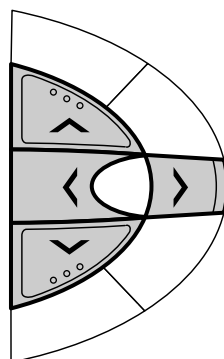


② < > ボタンで、切り替える。

方向転換させる

> ボタンを押す。(< ボタン：逆回り)

NORMAL	: 通常のスペアナ表示。 (REVERSE 3 の左右が反転する。)	
REVERSE 1	: NORMAL の上下が反転する。	
REVERSE 2	: REVERSE 1 の左右が反転する。	
REVERSE 3	: REVERSE 2 の上下が反転する。	



ネガとポジを反転させる

ボタンを押す。



SPEANA POSI
(ポジ)

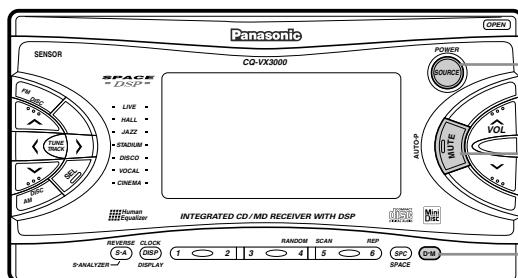


SPEANA NEGA
(ネガ)

お知らせ

- 約10秒間何も操作をしないと、通常モードに戻ります。
- 文字部のドットスペアナ表示は、表示パターンの切り替えやアレンジができません。

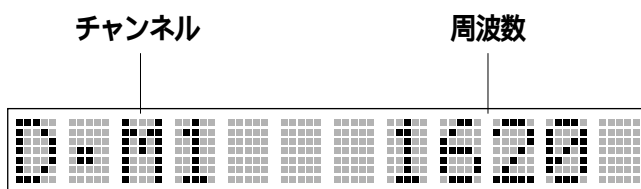
便利な機能(つづき)



交通情報を受信する

ダイレクトメモリー (D・M)

交通情報とメモリーさせた好みの放送局を、ボタン1つで簡単に受信します。電源が切れているときや、ラジオ以外のソースのときでもワンタッチで放送を受信します。



本体の D・M ボタンを押す。

- 押すごとに次のように切り替わります。

D・M

- D・M 1 : 交通情報 AM 1620 kHz を受信する。(固定)
- D・M 2 : ユーザーメモリーに書き込んだ放送局を受信する。
- 通常モード : もとのソースになる。(OFFを含む)

D・M2 (ユーザーメモリー) に好みの放送局を書き込む

- ① 好みのバンドと放送局を選ぶ。(P.14 参照)

- ② 本体の D・M ボタンを2秒以上押す。

- 現在受信している放送局が、D・M 2 にメモリーされます。

D・M

2秒以上押す

お知らせ

- D・M 1 は AM 1620 kHz に固定されているので、書き込めません。
- D・M 2 (ユーザーメモリー) の初期設定 は、AM 1620 kHz になっています。
- D・Mモード中はサウンド・音場等の設定変更ができません。

一時的に音量を下げる

ミュート/アッテネータ [初期設定：MUTE OFF]

MUTE (ATT) ボタンを押すと、一時的に本機の音量が下がります。音量の下がりかたは、設定 (MUTE または ATT) によって異なります。(P.35 参照)

MUTE (ATT) ボタンを押す。(再度押すと、解除)



設定がMUTEの場合

MUTE OFF : 通常の音量。

MUTE ON : 本機の音量が 0 (無音) になる。

設定がATTの場合

ATT OFF : 通常の音量。

ATT ON : 本機の音量が約 1/10 に下がる。

- ミュート/アッテネータが「ON」のときは、MUTEインジケータが点滅します。

外部機器の音声を聴く

AUX IN

後面のAUX-IN (AUX 入力端子) に外部機器を接続してください。(P.48 参照)

SOURCE ボタンを押して、「AUX IN」にする。

各々の外部機器で操作します。詳細は、取扱説明書をご参照ください。



ブラックライトでパネルの色の变化を楽しむ

ブラックライトは、別途購入・取り付けが必要です。

ブラックライトをあてるとパネル全体が鮮やかなディープブルーに光り、浮かび上がります。

お願い

ブラックライトを取り付けるときは、本機から20 cm 以上離してください。ラジオのノイズや誤動作の原因になります。

ディスクの取り扱いについて

CD（コンパクトディスク）

使用できるCD



のマークが入っているものを、
ご使用ください。

持ちかた

ディスクのセンターホール
と外周部分を持ってくだ
さい。



⚠ 注意

**特殊形状のCDやCDアクセサリは
使用しない**

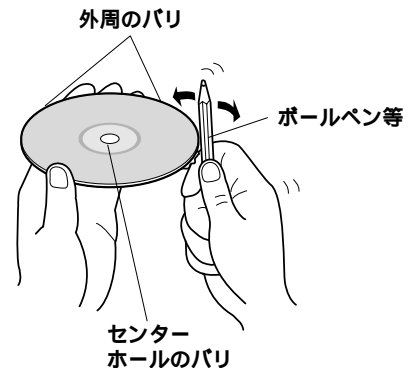
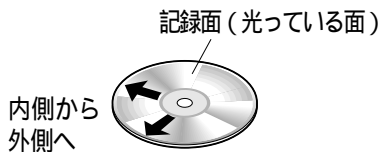


禁止

ハート型や八角形など特殊形状のCD
や、プロテクトフィルムやスタビ
ライザーなどのCDアクセサリを使用
すると、故障の原因になります。

CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



新しいCDを聴くときは

バリを取り除いてください。動作しないことがあります。

取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、
次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- 紙やシールを貼らない
本機の中で引っかかり、故障の原因になります。

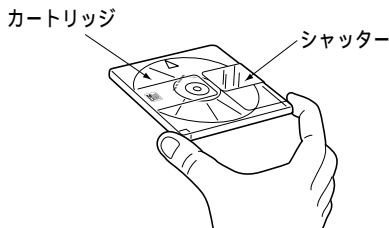
MD（ミニディスク）

使用できるMD

録音済みの音楽用MDをご使用ください。

MDが汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

MDそのものの破損，および機器の故障の原因になることがありますので，次のことをお守りください。

- シャッターを開けない
無理に開けると破損することがあります。
中の円盤には，直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない
本機の中で引っかかり，故障の原因になります。

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため，必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください。

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート，ダッシュボードの上など）
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ

カセットテープの取り扱いについて

たるみの取り除きかた

右図のように締め直してからお使いください。たるんだまま使用すると巻き込みなどの原因になります。

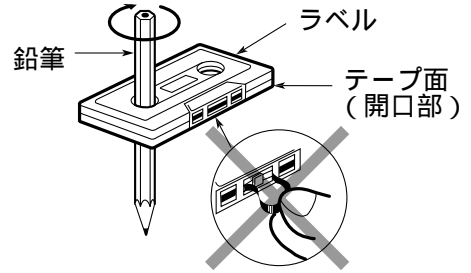
ヘッドが汚れたら

本機を長時間お使いになりますと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し雑音が出たり、音質が悪くなる場合があります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。

取り扱いのお願い

カセットテープそのものの破損、および機器の故障の原因となることがありますので、次のことをお守りください。

- ゆるみ止めを入れたままカセットテープを挿入しない
- はがれかかったラベルは、貼り直す
本機の中で引っかかり、故障の原因になります。
- C-120テープやエンドレスカセットテープは使用しない
テープ巻き込みなどの原因になります。



テープ走行面に触れたり、引き出したりしない

カセットテープの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ほこりを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください。

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 磁気のあるものの近く

お手入れのしかた

本機が汚れたときは

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使いますとケースや塗装が変質しますので、避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



使用しない

故障かな!?

ご確認ください

共通

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」の位置でも可)	10
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	48~49
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電している端子に接続してください。	49
	アクセサリ電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリ電源コードを、車のACC電源に接続してください。	49
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを、車体の金属部に接続してください。	49
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。	54
音が出ない。	音量が下がっている	音量を上げてください。	10
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	48~49
	ミュートが「ON」になっている。	「OFF」にしてください。	35
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	
ボタン操作ができない。	デモモードになっている。	デモモードを解除してから操作してください。	10
時計が調整できない。	電源が入っていない。	POWERボタンを押して、電源を入れてから調整してください。	10
雑音が出る。	携帯電話が本機の近くにある。	携帯電話の位置や向きを調整し、本機から離してください。	

故障かな!?(つづき)

ラジオ

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
FMステレオ放送，モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり，放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選局してください。	14
プリセットしたはずの放送局が，解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを，常時通電している端子に接続してください。	49

CD / MD

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
CD/MDを挿入しても音が出ない。	CD/MDが裏返し。	ラベル面を上側にして，正しい方向で入れてください。	16, 18
	MDの挿入方向が違う。		
	CD/MDが汚れている。	“ ディスクの取り扱い ” の項をご参照のうえ，CD/MDのクリーニングをしてください。	40~41
	データ用MDまたはブランクMDである。	音楽用MDまたは音楽が録音されているMDをご使用ください。	41
CD/MDの音かとぶ。音質が悪い。	CD/MDが汚れている。	“ ディスクの取り扱い ” の項をご参照のうえ，CD/MDのクリーニングをしてください。	40~41
振動により音かとぶ。	取り付け角度が30°を超えている。	取り付け角度を30°以内に調整してください。	50
	取り付けかたが不安定。	“ 取り付けのしかた ” を参考にして，本機と取り付け金具などをしっかり固定してください。	50
CD/MDがイジェクトしない。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD/MDの不良。 ● メカの不良。 	イジェクトボタンを押してください。 動作しないときは，リセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合は，お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。	16, 18 47 54

カセットテープ VX2000Dのみ

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
頭出し選曲ができない。	曲間の無音部分が短い。	カセットテープを他のものに替えて、確かめてください。	
音質が悪い。	カセットテープの不良。	カセットテープを他のものに替えて、確かめてください。	
	ヘッドが汚れている。	“ヘッドのクリーニング”の項をご参照のうえ、ヘッドのクリーニングをしてください。	42
カセットテープがイジェクトしない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープの不良。 ●メカの不良。 	イジェクトボタンを押してください。カセットテープを他のものに替えて確かめてください。	20
カセットテープを挿入しても、すぐ反転を繰り返してしまう。		動作しないときは、リセットスイッチを押してください。	47
カセットテープの再生が停止しない。		正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様相談窓口」にお問い合わせください。	54

サウンド設定

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
左右前後の何れかの音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	BAL/FAD を適切に調整してください。	29
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	48~49
ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。	スピーカーコードを正しく接続してください。	48~49
リヤースピーカーから低音、またはモノラル音声しか出ない。	SBC-SW が「OFF」以外に設定されている。	SBC-SW を「OFF」に設定してください。	30

リモコン

症 状	原 因	確 認 ・ 処 置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(+)(-)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	7
	電池の種類が正しくない。	電池を確認してください。	7
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	7
	リモコンの方向が正しくない。	本体の SENSOR (リモコン受光部) に向けて操作してください。	9

故障かな!?(つづき)

こんな表示が出たら

CD/MD

表示例	原因	動作	確認・処置
CD - E1 - MD - E1 -	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている, 裏返しになっている。 ●挿入したMDが, データ用または録音されていない。 	自動的に, ディスクが排出される。	ディスクを取り出して, ご確認ください。
CD - E2 - MD - E2 -	ディスクにキズがついている。		
CD - E3 - MD - E3 -	何らかの原因で動作しない。	—	イジェクトボタンを押してください。動作しないときは, リセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は, お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
⊖ PLS EJECT ☐ PLS EJECT	イジェクト動作が完了していないときに, 再生を始めようとした。	—	ディスクを取り出して, ご確認ください。

チェンジャー

表示例	原因	動作	確認・処置
CD CH - E1 - MD CH - E1 -	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている, 裏返しになっている。 ●挿入したMDが, データ用または録音されていない。 	自動的に, 次のディスクに替わる。	ディスクを取り出して, ご確認ください。
CD CH - E2 - MD CH - E2 -	ディスクにキズがついている。		
CD CH - E3 - MD CH - E3 -	何らかの原因で動作しない。	—	チェンジャーのイジェクトボタンを押してください。動作しないときは, チェンジャーのリセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は, お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。
NO DISC	チェンジャー(マガジン)に, ディスクが1枚も入っていない。	—	チェンジャー(マガジン)に, ディスクを入れてください。

お知らせ

- E1, E2の前に, エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。
- チェンジャーによって表示内容や対応操作が一部異なります。詳細は, ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

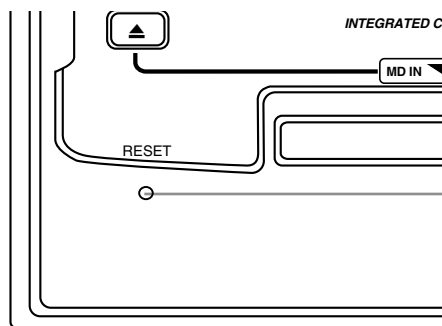
カセットテープ VX2000Dのみ

表示例	原因	動作	確認・処置
⊕⊕ PLS EJECT	何らかの原因で演奏できない状態のとき。	—	イジェクトボタンを押してください。

リセットについて

お願い

どのボタンを押しても動作しない場合に、リセットしてください。
それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。



リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒を入れて、スイッチを押す。

- 回復後、初期の状態に戻ります。記憶した内容や設定が解除されますので、ご注意ください。

万一、異常(ヒューズの溶断など)が起こったら

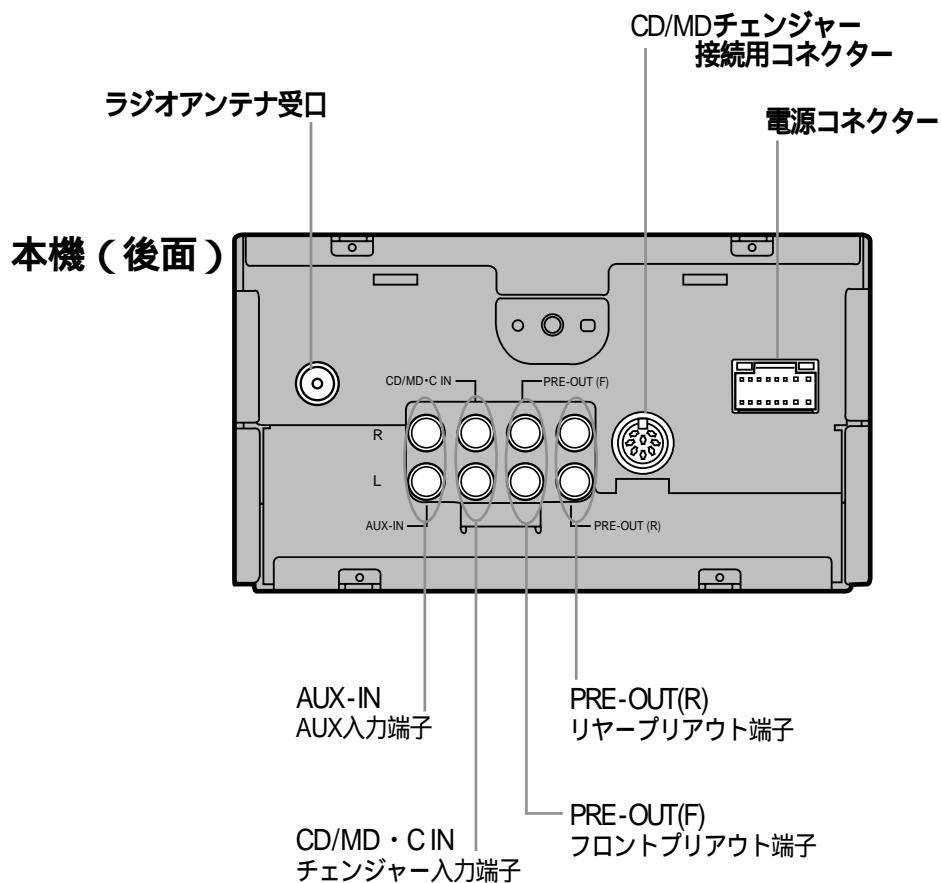
すぐに電源を切ってください。

煙が出ていないこと・熱くないことを確認してから電源接続をはずし、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。お客様による修理やヒューズの交換は、危険ですから絶対におやめください。

配線のしかた

- 配線については、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。



⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に 依頼する



本機の実装、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造をしない

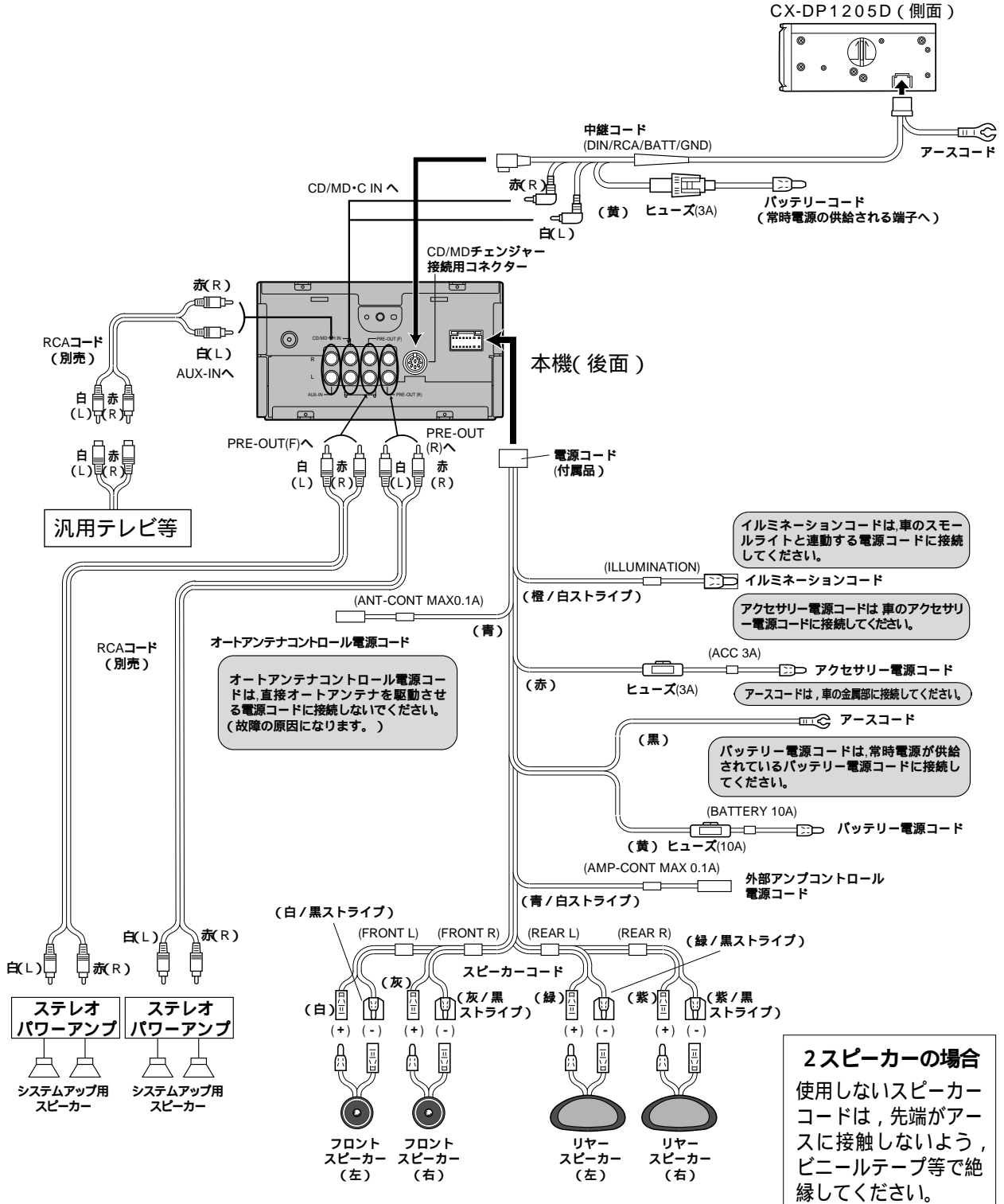


分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切ったり、他の電源を取るのをやめてください。発煙・発火、感電、故障の原因になります。

システムアップ例：8スピーカーの場合

CDチェンジャー (CX-DP1205D), 汎用テレビとの組み合わせ



必要なときに

取り付けのしかた

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の実装、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け用付属品

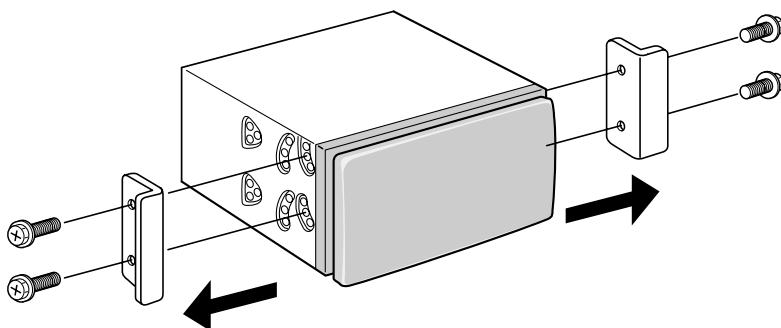
添付の袋には、下表の実装用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
①	特殊座付きねじ (5 × 8 mm)	4
②	特殊皿ねじ (5 × 8 mm)	8

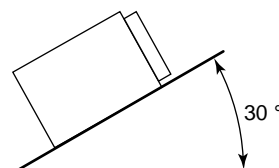
取り付けのお願い

取り付け前に必ず輸送用金具をはずしてください。

特殊座付きねじ (5 × 8 mm) 4本は、実装のときに使用します。紛失しないようご注意ください。

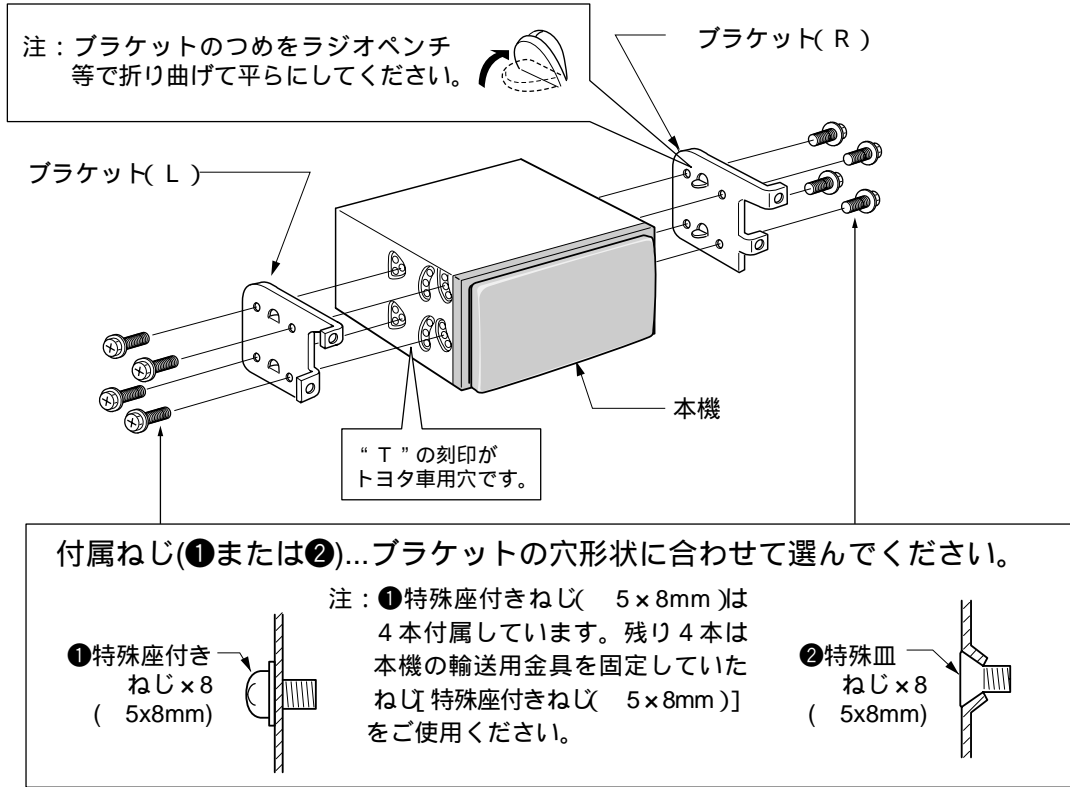


- 実装する場所によっては、本機のパネルがシフトレバー等にあたる場合もあります。販売店にご相談ください。
- 実装には、車両で使用されているブラケットをご使用ください。
- 本機の実装用の穴にはタップ加工がありません。付属のねじをまっすぐに押しながら締め付け、タップ加工をして実装してください。
- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で実装してください。



トヨタ車に取り付ける場合 (2DINサイズ採用車)

1. 車両からカーラジオ・小物入れを取りはずし、それらを止めているブラケットを取りはずします。
2. 付属ねじ①または②を使用して、本機にブラケットを取り付けます。
3. 本機を車両に取り付けます。



- 年式、車種、グレードにより、専用キット (別売) が必要な場合がありますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、車両側との配線が容易にできる専用の中継コード (別売) が準備されておりますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

日産車に取り付ける場合 (2DINサイズ採用車)

- 日産 2 DIN サイズ採用車専用に標準取り付けキット (別売) が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、年式、車種、グレードにより専用キット (別売) が必要な場合もありますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

上記以外の車に取り付ける場合

汎用 (別売) または車種別に専用キット (別売) が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。

お知らせ

2 DIN サイズ採用車とは、オーディオスペースに幅 180 mm、高さ 100 mm のセットが搭載できる車です。

仕様

共通

電源電圧	: DC 12 V (試験電圧14.4 V) ⊖アース
消費電流	: 8.5 A以下 (CD動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz, 1%, 4)
最大出力	: 37 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k
音声入力感度	: 700 mV (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 600 mV
プリアウト出力インピーダンス	: 600
外形寸法	: 幅 178 × 高さ 100 × 奥行き 160 (mm)
質量	: 2.3 kg (CQ-VX3000D) : 2.4 kg (CQ-VX2000D)

DSP部

チャンネル数	: 入力2チャンネル, 出力4チャンネル
スペースモード	: 7種類
イコライザー中心周波数	: 80, 160, 320, 640 Hz, 1.6, 4, 10 kHz
イコライザー可変範囲	: -12 dB ~ +12 dB (13段階)

チューナー (ラジオ) 部

FMチューナー部

受信周波数範囲	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度	: 12 dBf
全高調波ひずみ率 (モノ)	: 0.3 % (1 kHz)
聴感補正SN比 (モノ)	: 70 dB
周波数特性	: 20 Hz ~ 15 kHz ±3 dB
分離度	: 42 dB (1 kHz)
実効選択度	: 75 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲	: 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (S/N 20dB)	: 27 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下

MDプレーヤー部 VX3000Dのみ


周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 90 dB (IHF, A)

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

カセットプレーヤー部 VX2000Dのみ

再生方式	: 4トラック2プログラムステレオ
テープスピード	: 4.76 cm/秒
早送り時間	: 100 秒 (C-60)
巻戻し時間	: 100 秒 (C-60)
ワウ・フラッタ	: 0.07 % (WRMS)
信号対雑音比	
ドルビー-B NR OFF	: 56 dB (IHF,A)
ドルビー-B NR ON	: 66 dB (IHF,A)
周波数特性	
ノーマルテープ使用	: 30 Hz ~ 18 kHz
メタルテープ使用	: 30 Hz ~ 20 kHz
クロストーク	: 65 dB

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー・DOLBY およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときは電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室



ゴージャス パナソニック

0120 - 50 - 8729

フリーダイヤル（料金無料）
受付 9：00 ~ 17：00
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）